



ファミリーサポート事業第3回「親の居場所づくり」

11月27日は「親の居場所づくり」を、あすなろの家でうどんを打ち、それを食べながら行われました。当日は9人の親御さんが参加して、あすなろ農園で採れた小麦粉を、**こねて、踏んで、のばして、切って**という作業に熱心に取り組みました。この日は思いがけず、小田原CLCA「はじめ塾」の少年達8名が参加してスタッフを含めると32名の賑やかな「うどん会」となりました。そして、できたての「うどん」を食べている時の皆さんの顔はとっても満足そうで晴れやかでした。

この後、「はじめ塾」の少年達が次のような、感想文を寄せてくれました。

今日はうどん作りに座間までやって来ました。初めてのうどん作りで、ワクワクとドキドキでした。最初は何をすればいいのかわかんないけど、先生に教えてもらって、こつがついてドンドンうまくなって完成して、おいしくできてよかったでした。

今日は初めてうどん作りをしました。作り方や分量を覚えて、アメリカに行って、ななおさん達に作ってみたいです。うどんを作ってみて、めっちゃ楽しくて、またやりたいです。うどんを伸ばすのをじょうずだと言われて、うれしかったです。

最初にパッとみたらお母さん方がいっぱいいました。最初は学校に行っていない人がいるのかと思っていました。うどんは多分うまくてきたと思います。あすなろの村ははじめて来たけど、なかなかごめる感じがして、楽しく気軽にできました。

今日は初めてうどんを作りました。食べるのはかんたんなんですけど、つくるのはものすごくむずかしいです。切るのがむずかしくて、細さとか太さがばらばらでした。でも、おいしかったです。



うどん作りは思ったよりも手間がかかり、とても大変でした。地粉を塩水と混ぜるところは最初は平気だったけど、途中からだんだん重くなってきて混ぜるのが大変だった。今回の作業で一番思い出に残った事はうどんを切るときの事です。コツが必要でなれたらけっこうスムーズに切れた。みんなで作ったうどんは思ったとおり、とてもおいしかったです。次回があればぜひ来たいです。

今日はうどんをうちました。初めてだったけど、けっこううまくてきました。またやってみみたいです。

今日は、初めてうどんをつくりました。とってもおいしかったです。さらにうどんはてまがかかると言う事がわかりました。またやりたいです。

今日のうどん作りは新鮮でとてもおもしろかったです。すばるの作ったうどんは、とてもパンチがきていて、おいしかったです。すばるはうどん職人になればいいのと思いました。かんじんの自分のうどん作りはこねるのはうまくてきましたけど、切るのが下手くそで笑われてしまいました。でもやっているうちに、なれてきてこつをつかみました。また、作ってみたいです。ポストにそなえて、ひとつ料理が覚えられて、ちよう、うれしいです。

12月4日はあすなろの家の大掃除をしました。

1年間の使用したあすなろの家に感謝の気持ちを込めてスタッフ全員で分担して大掃除をしました。子ども達の参加が少ないのは残念でした。みんなで活動することを大事にしているので、これからの課題です。

農園の整理も行いました。里芋とヤーコンの収穫と小麦の追肥(あがべからバザーでいただいた残菜の肥料)もしました。小屋の片付けをして、今年の農作業は終わりました。里芋が成績優秀で大きいのがたくさん付いていてうれしいです。

家も畑もきれいに来年へ夢をつなぎましょう。

